学習課題：「　ディベートを通して考える著作権　」　ワークシート

**授業プリント　～ディベートを通して学ぶ著作権～**

Ａ．ディベートとは

　　１つのテーマについて考え，意見を述べ，相手の意見について検討し相互にやり取りしていきます。このやり取りを第３者が判断します。

⇒　ディベート甲子園の様子を見てみましょう。

Ｂ．プレゼンとディベート

　　プレゼンテーションは，特別な行為ではありません。

　　大きなスクリーンを前にパワーポイントを駆使することだけがプレゼンテーションではありません。日常業務（報告・連絡・相談）も，プレゼンテーションすることに他ならないと考えられています。また，プレゼンテーションとは，「相手に行動変容を強いる行為」ともいわれています。

つまり，何かを伝えて，それを相手が理解し，納得し，伝えられたことにしたがって何らかの行動を起こすようにする，ということです。営業での商談，交渉，会議での説明，提案，日々の報告，連絡，相談もプレゼンテーションに他ならないのです。

そこで今回は，プレゼンテーションの応用としてディベートに挑戦です。自分の意見をまとめ，メリット・デメリットを考え，自らの考えを伝えてもらいます。

Ｃ．課題内容

　　テーマ：①「著作権の罰金は安すぎる。是か非か。」

②「パロディは著作権違反である。是か非か。」

③「著作権が親告罪であることについて，是か非か。」

　　上記の１～３のどれかの是・非のどれかについて意見をまとめてもらいます。１グループは３名とします。

　　ビデオを見て学んだと思いますが，グループだけの意見でなく，相手グループの主張を推理して，それに負けない意見を言えるようにしっかりと考えをまとめましょう。必要であれば，インターネットや図書館などでいろんなことを調べて参考にしてください。

　　これらの課題内容は，**答えがないのでどちらが正しいとかはなく，どちらの主張に説得力があるかを判断します。**

Ｄ．ディベート時間について

　　制限時間：１５分

肯定側

否定側

論壇

ジャッジ席

肯定側立論　２分

　　　　　否定側質疑　２分

　　　　　否定側立論　２分

　　　　　肯定側質疑　２分

　　　　　準備時間　　３分

　　　　　否定側反駁　２分

　　　　　肯定側反駁　２分

Ｅ．準備メモ

|  |
| --- |
| 書ききれない場合は，裏面を利用してください。 |

Ｆ．評価シート

　　今回は，コンピュータ上で入力します。

Ｇ．感じたことを書こう　　　　　　　（　　）組　（　　）番　なまえ（　　　　　　　　　　　）

100

200